

## 令和7年度予算特別委員会について

### 1 審査日程

令和7年2月10日（月）～令和7年3月14日（金）

教育委員会関係／令和7年2月19日（水）、3月6日（木）

総括質疑・採決／令和7年3月14日（金）

### 2 教育委員会関係の審査内容

別紙「主な質問・答弁」のとおり

---

## ■ 学校教育関係 ■

---

### 【情報通信ネットワーク環境の整備及び管理について】

**山田分科員** ①R6の課題とR7の対応計画は？②モバイルルーターはどう活用されているか？③今後予算が増える可能性は？

**武上次長** ①広島大学と連携し、通信状況を可視化する取り組みを協議中。課題を把握し、R7以降の対策に活用する。③高度な通信環境や利用範囲の拡大でコスト増の可能性はある。国のデジタル構想や広島大学との協議で方針を検討中である。

**徳満室長** ②就学援助世帯や学校内のグラウンド活動などに活用している。

---

### 【賀茂北高等学校の活性化に係る補助金について】

**岩崎分科員** ①賀茂北高校活性化補助金の詳細は？②過去の実績は？③補助金の意義は？④他校への支援は？

**武上次長** ①資格取得支援のため、英語検定、秘書検定、食品衛生、ドローン講座などの費用を補助する。②R6は、英会話12名、秘書検定7名、食品衛生3名、ドローン講習6名。③廃校回避を目的に始まり、現在は地元就職や地域活性化に一定の効果があったと認識している。④志願状況を見て適切な支援を検討する。中学生の進学先確保は重要である。

---

### 【プール管理指導監視員について】

**谷委員** プール運営は、近年の酷暑の状況を踏まえた遮熱シートなどの対策はどうか？

**武上次長** 国通知の民間施設の活用検討を受け、R7以降検討するが、遮熱シートや屋根の導入は予算計上していない。

---

### 【小中学校の施設整備について】

**田坂委員** ①松賀中学校の増築設計の計画はいつのデータを基に行っているか？②本市の人口の推計を踏まえ、慎重に進めるべきでは？③増築事業の影響で長寿命化事業が遅れている様に感じられるが、工事の予定は？

**武上次長** ①R2～3年頃からの人口推計を基に計画を進めている。②開発動向や住宅金利の上昇、マンション建設などを踏まえ推移を注視する必要がある。35人学級や特別支援学級の増加を考慮している。③計画はあるが、債務負担行為やR7予算計上されていないものは事務事業シートに記載していない。

**谷委員** トイレ環境改善や空調整備の計画を早める検討はしているか？

**武上次長** 一斉改修は将来の改修時期が集中する課題があるため、長寿命化計画と個別改修を計画的に進めている。100%整備には時間が必要、順次改修する。

---

### 【就学援助について】

**谷委員** ①クラブ活動の地域移行に係る子供の環境整備として、就学援助制度とリンクして欲しい。本人の希望に合わせた対応が望まれると思うが？②基準の上限をどこにするか、他市に学んで対応すべき。

**吉岡課長** ①就学援助制度に、クラブ活動費、委員会活動費等があり、自治体によって異なる。県内の他市町は、1割程度の自治体で部活動支援が就学援助の対象。例えば、部活に未所属の生徒や部活動の部費が異なるなど、就学援助での部活動支援は、公平性の観点から本市では対象外。弾力的な対応として、卒業アルバム代は公平性も考慮し、すべての就学援助の対象の児童生徒の家庭に支給。今後、部活動の地域展開は、受給者負担の部分もあるので、どのような対応ができるかを検討していく。

---

### 【部活動指導員・部活動の地域展開について】

- 貞岩分科員** R7の指導員配置拡大は、学校要望すべて反映されているのか？
- 鷹橋課長** 現時点で24名を県に要請、最終決定までしばらくかかる。国1/3、県1/3が負担する。
- 重森委員** 地域移行に伴う課題は？
- 鷹橋課長** 専門的な指導、教育的な意義を理解して指導しておりメリットは大きい。土日に教員が一緒に参加し、働き方改革が進んでいない点が課題。R7は指導員に指導を任せるとし、R9に向けて改善を進める。
- 中川委員** 教員が土日の部活動に参加している現状を問題視しているのか？部活動に積極的な教員の意向を尊重しつつ、地域移行を進めてほしい。
- 鷹橋課長** 継続を希望する教員（約2割）の意向は尊重するが、慣習や責任感から参加しており、これが働き方改革の課題である。
- 岩崎分科員** 子供中心の議論が不足しているように感じる。
- 鷹橋課長** 中学生のアンケートでは、半数弱はやりたい部活がないと回答。部活動の地域展開で打開したい。
- 神笠教育監** 子供のためにが大前提。働き方改革は子供と向き合う時間を確保するためである。今後は子供の声を聞きつつ進める。
- 片岡部長** リフレットにも子どもにとっての部分も説明している。今後子供の意見を受け止めながら、地域移行を進めていく。
- 下向分科員** ①実践モデル地域の設置はどのように進めるのか？②責任主体はだれか？大学連携モデルでは主体となるのは大学生か、責任主体を明確にしてもらいたい。
- 鷹橋課長** ①R6は大学連携モデルや団体連携モデルを進めたが、課題は顧問の関与や地域指導者の確保。R9に向け、団体連携モデルを試行する。②大学生は責任主体にはできない。今後、大学全体の組織的な関与も検討中である。
- 貞岩分科員** ①土日両日部活をするところはあるか？②部活動指導員は、土日連続で指導する可能性はあるか？③学習指導要領ではやらなければならないという決まりはないが、教員は部活の指導はしない、という考えでよいか？④現職教員が土日に指導する場合の手当てはどうか？
- 鷹橋課長** ①部活動のガイドラインに従っている。②ガイドラインに基づくため同様である。土日が試合だった場合は、翌週以降調整。③学習指導要領上、学校教育の一環として部活動があるのは当然だが、土日に関しては必須ではなく、教員の自主性による。④地域展開後は報酬を検討中である。

### 【学校の特色ある教育活動・コミュニティ・スクールについて】

- 山田分科員** ①文化学習の予算配分の詳細は？②国際交流の要である。不十分だと思うがどうか？
- 鷹橋課長** ①報償費のうち約270万円が和文文化学習に使われる。②すべての教科や道徳教育を通じて、日本の伝統文化を扱っており、この事業では華道や茶道といった体験学習を実施。これを基盤としてさらなる発展を目指す。学校希望があれば、拡充を検討する必要がある。
- 景山副主査** 教科等指導員の配置計画は、R7の教員配置に基づいて7人となっていると考えてよいか？
- 鷹橋課長** 学級編成が確定していない段階だが、現時点ではこの人数で対応可能と考えている。
- 吉岡課長** 児童生徒数により教職員定数が決まる。それをもとに複式学級が必要な学校などを考慮し、定数に沿って配置を進める予定。県教委と連携し、通常の運営ができるよう配置していく。
- 山田分科員** コミュニティ・スクール推進員の配置は、R6と比較し予算増額の理由は？
- 鷹橋課長** R6は31名配置、R7は1名増員予定。昇給等の費用も含め、約1,500万円増加した。
- 岩崎分科員** コミュニティ・スクールの目的である地域活性化の成果はどう評価しているか？
- 神笠教育監** コミュニティ・スクール推進員は、地域との窓口として活動し、地域連携を強化している。学校の運用面のサポートもしており、本市ならではの人的支援。子供たちが地域と連携して活動する機会が増えたことが重要な成果である。地域活性化の影響も引き続き注視していく。
- 武上次長** 人づくりの中の一つの事業である。単体での指標はないが、事業がうまくいけば学力につながるという位置づけである。

片岡部長 学校運営協議会と地学協働が一体となって、学校や地域の様々な課題解決に取り組むことで、地域の方々にとってもウェルビーイングにつながっていると認識している。

**下向分科員** 「CS 挑戦応援事業」と「B・B ベース」の違いは何か？

長野課長補佐 「B・B ベース」という多様な取組の中で、特に、学校が抱える教育課題である学力保障や不登校等児童生徒の居場所づくりを、地域の力を借りながら作っていく。それを、地域の力で自走できるものにしていく。

神笠教育監 「B・B ベース」は、遊びと学びの場を広げる概念全体を指す。「CS 挑戦応援事業」は、その一部、学校運営協議会を核とした活動を支援する。

市場教育長 学校運営協議会を活性化させ、子供たちの新たな居場所を作ることを目指す。その中で地域や保護者とも連携し、包括的な支援体制を構築していく。

**下向分科員** ①一校一和文化の外部講師の高齢化が課題であるが、その対策や予算は含まれているか？

**山田分科員** ②文化学習は外部講師がすべて担当するのか？③貴重な知識や技術を教材化することも検討してほしい。

鷹橋課長 ①地域人材育成の予算は無い。後継者育成の必要性は認識している。学校やコミュニティ・スクールで議論し、後継者育成や伝統の継承策を検討する。②基本的には外部講師が担当。③引き続き検討を進める。

**北林分科員** ①日本文化と地域伝統文化の整理は？②講師謝金はどの程度か？③若い世代への継承や人材育成の方法は？教員への負担が過度にならないよう配慮を。

鷹橋課長 ①和文化教育は、地域の伝統や文化を含めた学習である。②1時間あたり1,120円（R7）、打ち合わせ時間も含む。③状況を把握し、地域だけでなく学校内でも教員間で伝承する仕組みを検討する。

---

### 【生徒指導の推進について】

**下向分科員** ①SSR 未設置校での対応は？②心のサポーターの拡充内容は？③活動指標は R6 のものと変わりが無いが。

鷹橋課長 ①未設置校でも別室を用意し、教員が交代で対応しているところが多い。②配置時間を増やし、不登校支援など多様な相談に対応している。

今井課長補佐 ③R6 の目的別事業群に示した時数は、県の SSR の配置校が未決定だった。県の SSR の設置が決まった時点で、当初の予定とは違う学校に時間を配当するなど調整するため、R6 と R7 の時間が変わっている。

**下向分科員** ①SSR がない学校にも心のサポーターは配置される予定か？②不登校児童生徒が増えないよう研究をお願いしたい。

鷹橋課長 ①心のサポーターはすべての小中学校に配置している。②詳しく調査しているが、どの学年段階でも増加。なり始めの時期等に応じて段階的な支援を行えるよう考えている。

**山田分科員** ①SSR 設置基準と今後の計画は？②地域差への対応やフレンドスペースの不足は？

鷹橋課長 ①小学校 500 人以上、中学校 400 人以上を基準に設置した。今後は地理的格差を考慮し、未設置地域を優先する。②地域の支援格差を減らすため、中学校の SSR を小学生が利用できないかなど仕組みを検討中である。

---

### 【小中一貫教育について】

**北林分科員** ①特色ある教育課程を選定した経緯は？②教育活動が地域に与える影響は？③普遍的な

教育内容と特色ある教育のバランスはどうか？

鷹橋課長 ①地元住民や保護者との協議を通じて合意形成し、各地域に適したものを選んだ。②進捗度に学校間の差があるが、進んでいる学校では成果が現れつつある。③特色を重視しつつ、普遍的な教育内容の基盤を大切に、必要に応じて改善する。

市場教育長 ③特色とは地域に根差した教育であり、特別なものを指すのではない。探究心や問題解決能力を養うことが共通の目標である。

---

#### 【学校安全ボランティアについて】

山田分科員 登録者数は現状どのくらいか？登録者数だけでなく実働者数を把握する必要がある。

鷹橋課長 R5は1万4,272名、R6は1万3202名。活動頻度は月1回や年1回の方も含まれ、一概に実働人数は把握できていない。引き続き現場の状況を注視し、活動の改善に努める。

---

#### 【学校図書館運営の推進について】

下向分科員 学校司書数が18名だが、当初予定の22名から減少した要因は？

鷹橋課長 人材確保の難しさに加え、不登校対応など他の人的措置への配慮もあり、予定を修正。引き続き目標達成に向けて、人材確保を進める。

---

#### 【ICT支援員について】

下向分科員 ①203ページのICT支援員増員は、195ページの業務委託支援員とは別か？②配置基準はどうか？③支援員増員で課題改善は進むか？ICT利用の学校間格差が解消するよう期待する。

徳満室長 ①203ページのICT支援員は、会計年度任用職員で授業支援が主な業務。195ページは業務委託支援員で、環境整備が主な業務。②委託支援員6名と任用支援員5名、計11名で4.45校に1人の割合。③学校のニーズに対応できる。現在も全国平均等と比べて高い評価を受けている。

---

#### 【ICTリーディングエリアの取組発信・普及について】

下向分科員 ICTリーディングエリアとは？

徳満室長 磯松中学校区をICTリーディングエリアに指定。デジタルドリルの活用を先進的に進め、その成果や効果を他の小中学校に広げる取り組みをしている。

---

#### 【デジタル教科書について】

谷委員 デジタルドリルの延長としてデジタル教科書導入はどうか？先進的な取組と学力向上の研究結果を考慮し、世界的な視野での対応が重要である。

徳満室長 現在、英語は全校、数学・算数は約半数の学校で導入。他教科のデジタル教科書は、国の検討を踏まえて進めていく予定である。

---

#### 【「特別なニーズに対応した教育の充実」の成果指標について】

山田分科員 成果指標で、「将来の夢や目標を持つ児童生徒の割合100%」を目指す理由は？

鷹橋課長 すべての子供が夢や目標を持つことを願いとして掲げている。小さな目標や身近な成長目標も含めている。

---

#### 【学校給食センターの有機野菜活用の試行的取組について】

山田分科員 ①R6は「有機野菜活用の試行的取組」があったがR7は無い。「試行的な取り組み」で無くなったから外したのか？②関わった有機野菜農家と話した中で、色々な課題を見つけ、次に向けてやる気十分だった。引き続きよろしくお願ひしたい。

沖田次長 ①引き続き本格的に実施するので、ここから外した。

---

【自由討議】

- 貞岩分科員 クラブ活動の地域移行が児童生徒に悪影響を与えず、現状や願いを尊重して進めるべき。
- 下向分科員 地域活動の地域展開はまだ模索中。今年の実行を通して方向性が見えてくることを期待。
- 山田分科員 文化学習では地域の伝統を学ぶだけでなく、情報を保存し次世代に伝える仕組みを提案。
- 影山副主査 コミュニティ・スクールは当初の目的から範囲が拡大。学校のニーズ型と地域のシーズ型の整理が必要。
- 岩崎分科員 コミュニティ・スクールは学校運営協議会と地域連携の2本柱を基本に、地域活性化を目指すべき。

---

## ■生涯学習部関係■

---

### 【高屋情報ラウンジあったかやの活用について】

**山田分科員** サードプレイスを活用した学生生活の支援とあるが、具体的には何のイベント等を支援するのか。サードプレイスは図書館ではないのではないのか。

**神笠次長** 補助金は、新たな地域拠点としてまちづくり団体に自立的な運営につながる初期支援を地域振興部と連携して進め、eスポーツイベントや学生の活動のために試行的に行う。図書館は、今までは本の貸出が主であったが、地域の交流の場や地域活性化の場としていきたい。

**下向分科員** 情報ラウンジの管理運営費は他の図書館と比べ高額だが、初期費用か毎年かかるのか。通勤通学客がターゲットかもしれないが、日曜日や夏休みも朝からの開館を期待したい。

**神笠次長** 管理運営費は図書館運営費と施設管理費で、現図書館の指定管理に運営を委託し、施設管理は鍵の施錠や清掃などを委託する。人件費や管理費は妥当な金額として見積もっている。開館時間は、活用状況を踏まえ、今後どのような運用がいいのか調査研究していく。

**貞岩分科員** 図書館運営業務は、指定管理者に委託することだが、入札ではなく随意契約するのは当面なのか。

**神笠次長** 図書館の専門性、他の図書館との連携を踏まえ、指定管理期間と同じ来年度まで、委託していきたい。

---

### 【黒瀬図書館について】

**片山委員** 黒瀬生涯学習センターが改修されるが、黒瀬図書館の運営はどのようになるのか。

**神笠次長** 8月から1年間の工事期間になるが、図書館は、サービス低下を招かないように努めていきたい。極力開館する方向で進めていく。

**北林分科員** 図書館運営はどこで行うのか。長期修繕に伴う運営方針は決まっているのか。

**神笠次長** 現行の図書館内で事業を行う予定だが、工事の関係で出入口の変更はある。

**尾畑補佐** 現段階では予約本を貸出しするが、電気工事で1カ月半完全休館となる。

---

### 【図書館のとしよまる号について】

**下向分科員** としよまる号は2台とも更新になるのか。何が変更となるのか。

**神笠次長** 来年度は現行の1台を小型の2台に更新し、計3台となる。リースの方が購入より予算の平準化が図れるのでこの度リースとした。また、4t車を小型にすることで、狭い道等の走行が可能になり、配本場所の増加が見込める。

---

### 【生涯学習活動の推進について】

**北林分科員** 生涯学習の実務を事業団に委託し、今の体制と4月以降の体制がどのように変化するのか対比が分かる資料を付けてほしかった。生涯学習センターごとにどのように職員が配置されるのか示していただきたい。

**神笠次長** 新年度の体制について、事業団と詰めている段階である。市民文化センターに全体を統括する部署を設け、北部は豊栄生涯学習センターを中心とし、福富・河内を支援する体制を検討している。会計年度任用職員とプロパー職員等も置き、機能強化を図っていく。配置については、人事であり、現時点ではお示しできないが、これまでの業務量等を踏まえ配置を検討している。

**伊藤部長** 職員の配置については、育成・指導の観点もある。また、市と事業団との人事交流の可能性もあり、今の段階ではお示しできない。市民が困らないように対応していきたいと思っている。プロパー職員2名、任期付き職員5名、生涯学習推進員8名、施設管理の職員3名、センター長3名の採用予定と聞いている。

---

### 【生涯学習活動の推進について】

**北林分科員** ①地域センター事務職員の予算はどこから出ているのか？

---

②地域センターがない地域について、どのように考えているのか？

③集合型オンライン講座は市内のごく一部で試験的に実施しても効果がなかったのではないかと推測する。生涯学習部で参加者同士が顔を見て仲良くなれる雰囲気をも市民に届けてほしい。

④黒瀬生涯学習センターが長寿命化改修工事に入り、今行っている講座をどこで実施するのか？

⑤黒瀬支所の利用については調整がうまくいっていないと聞いているが、部局間で連携をしていただきたい。

神笠次長

①本年度までは地域振興部の予算で、来年度から生涯学習部生涯学習課の予算に位置付け、生涯学習課の直轄となる。

②生涯学習機能を事業団に移管し、体制を強化していく中で、まずは地域センターに指導に入り、地域センターのない地域も指導等を行っていく体制をとっていきたいと考えている。

④今年8月から来年7月にかけて1年間工事に入る。その間の代替施設については、黒瀬B&Gや上黒瀬コミュニティホール、集会所等と調整を行っている。

---

### 【集合型オンライン講座について】

下向分科員

昨年、私も参加した。美術館と黒瀬の集会所をつないで、居合道を体験した。想像以上に楽しかった。限られた予算、場所、人員で、来年度どのように取り組むのか？

神笠次長

令和5年度から実施し、昨年度の課題を踏まえ、今年度は部全課を挙げて取り組んだ。場を盛り上げるファシリテーターの力量が重要になる。来年度は睡眠に関する講座、児童青少年センター夏祭り、伯和等と連携した講座を検討している。

伊藤部長

北林分科委員からご指摘の、参加者同士の触れ合いについても講座の中にしっかりと取り入れていきたいと思っている。

---

### 【創作村・天文台の管理について】

谷委員

創作村、天文台の管理ほかということで修繕があるようだが、

①入場者数は？

②修繕の間利用できない期間は？

③創作村利用者の交通手段は？

④利用者増の取組は？

神笠次長

①令和5年度の創作村利用者数は1,147人、天文台については広島大学の施設であり、利用者数等把握をしていない。

②維持修繕で施設が使えないほどの大規模なものは予定していない。

③基本的には自家用車と認識している。

④交通手段の問題もあるが、施設の周知、活用をはかっていく。

田坂委員

創作村は、福富みらいベースと機能的に被っているのではないかと。市の内部でしっかり協議をして進められているのか。

神笠次長

限られた予算で効率よく運営していくため、部局間連携、調整を図っていく。

---

### 【人権に関する学習機会の充実について】

谷委員

予算が約50万円増えているが、その内容はどのようなものか。ジェンダー平等など世界情勢に応じた最新の内容を盛り込んでいただきたい。（要望）

神笠次長

①今年度は人権講座の回数を50回程度見込んでいたが、来年度は社会教育や人権講座を強化するため60回程度見込んでいる。

---

### 【美術館の特別企画展について】

景山副主査

①美術館の特別企画展「ポップアート」を企画した理由は。

②ポップアートは団塊の世代の方々をターゲットとしたのか？

手島次長

①企画展としてこれまで中世～近世のヨハネパウロ展、近世～近代の印象派展とやってき

て、次に現代という順でこれを計画した。

②美術館の提案としては、団塊の世代だけでなく、今の若い人も興味を持ってもらえるとの意図である。

**山田分科員** 入館者数はどれくらいを見込んでいますか？

手島次長 1万3千人。

**重森委員** ①そのうち有料入館者数の見込みは？

②ヨハネ・パウロ展の実績はどうだったか？

③市制施行50周年事業が6,900人程度（は少ない）。有料の入館者数を増やす努力をすべき。市美展も含め、生涯学習としての活動が伸びていない。

④立派な建物があるので、事業の中身を精査して欲しい。企画展も市民に美術館の意図が伝わりづらい。市民が芸術文化に触れ体験できるようしっかりやって欲しい。（要望）

手島次長 ①7,800人。

③企画展の内容に合わせて幅広い世代に合わせたワークショップなどを行うなどしている。市美展も出展者を増やすためのワークショップを来年度検討している。

小牧係長 ②入館者数約6,900人で、うち有料は約4,200人。

---

### 【西条酒蔵通り地区の保全について】

**下向分科員** ①伝建の現状は？

②産業部の方の観光コンテンツに関する合意形成と地域が被るのではないかと？連携は？

③伝建は観光に繋がるものとおもうので、産業部とも連携を図り丁寧に進めてほしい。（要望）

手島次長 ①R4～R5に6回の住民説明会を行い庁内での検討も行ってきた。R6も説明会を4回行ったが、住民の参加状況は良くない。今後全体を6ブロックに分け各地区から代表者数名出してもらって、協議会を組織し内容を詰め理解の促進を進めていくこととしている。

②観光と直接連携はしていない。伝建は規制を加えるものとなるので、趣旨が少し違っている。

**山田分科員** ①まちなみ物語No.5はいつ出るのか？

②事業シートには年6回とあるが？

③まちなみ物語は判りやすい内容で良いので定期的に出して（市民に情報提供をして）ほしい。（要望）

手島次長 ①blankが生じてしまっているが、協議会の立ち上げのタイミングに合わせて新年度の早い時期に出したい。

吉野係長 ②年6を目標としていたがR6は2回になった。新年度は出来るだけだしたい。

---

### 【ユニークベニユアの活用について】

**向井委員** ①ユニークベニユア R6はどうだったか？

②R7年度の2回とは？

③観光にも資するものであるから、産業部との連携をお願いしたい。

手島次長 ①白市でまちなみ美術館や三ツ城古墳の光の宴、白市ひなまつり、酒蔵通りで日本建築学会研究会が行われた。

②白市ではNPOの活動が定着しつつあり、旧石井家住宅で白市歌舞伎の上演の計画もある。

③様々な制約はあるが、イベント等に文化財が活用できることなど周知をはかりたい。

---

### 【芸術文化の振興について】

**岩崎分科員** ①くらの事業の進め方だが、大学生が喜ぶような視点が必要では？

②どうしたら若い人にこの町に住んでもらえるかといった視点で考えていただきたい。（要望）

手島次長 ①まずは（議会提案にもあったように）幅広い世代に合わせた企画、また（過去の議会提案にあったように）若い人の興味を引くような事業を行うよう、指定管理者にも努力してもらっている。

---

### 【新文化財センターの整備について】

- 田坂委員** ①新センターの設計が2,400万だったと思うが、R7の予算は2,800万となっているが？  
②設計は無駄になったのか？  
③雨漏り修繕はこの程度で良いのか？外壁はどうするのか？  
④新センターはどの範囲を使うのか。  
⑤事業に無駄が出ないようにしっかり詰めて行ってください。(要望)
- 手島次長 ①当初設計の見直しを図り、必要最小限の経費で市内収蔵機能の集約化を図る。  
②規模縮小で無駄になった部分もあるが、収蔵に関しては設計を活かしている。  
③当面外壁の大規模な修繕は必要ないと判断している。  
④校舎部分はすべて使う。
- 谷委員** 現在の出土文化財管理センターはどうなるのか？
- 手島次長 事務所機能をR8年度中に新センターに移し、建物は収蔵庫として引き続き利用する。
- 

### 【放課後児童クラブの管理及び運営について】

- 貞岩分科員** 公立クラブの業務委託について「委託クラブ数：8クラブ」とあるが、具体的な状況を知りたい。
- 坂木課長 現在候補者の選定・契約行為を行っており、現段階では、4月から5クラブ、10月から4クラブ、計9クラブを業務委託する見込み。令和7年度予算にかかる説明書には8クラブとあるが、すでに議決済の2月補正債務負担の中で9クラブ委託の見込み。
- 下向分科員** いきいきこどもクラブ運営に必要な施設整備について、こどもたちが宿題をするのに必要なWIFI整備にかかる予算措置は含まれているか。
- 坂木課長 学校内設置のクラブは学校のWIFIを利用し、学校外設置のクラブについてはWIFI整備にかかる予算措置を行っている。
- 

### 【児童青少年総合相談室の開設について】

- 貞岩分科員** ①児童青少年総合相談室について、昨年度から130万円程度の事業費増額は、開設時間延長などが理由か。  
②相談内容については関係機関と連携しているか。
- 坂木課長 ①開設時間は今年度と変更なし。増額理由は、会計年度任用職員の人件費のベースアップによるもの。  
②多くの場合、指導課と連携し、指導課から小中学校へ連携している。
- 貞岩分科員** こどもの自殺問題に資するため、ぜひ国がやっている「いのちの電話」等の啓発もしてほしい。
- 

### 【青少年健全育成団体への運営支援について】

- 景山副主査** ①「ウ 東広島市女性連合会」の36万円は青少年育成に関する何の活動に助成しているか。  
②単位団体への助成ではなく、連合会の事業への助成か。  
③地域共生社会実現に向けて、NPOなどの団体との連携が必要と思うが、その他関連部局との団体助成に関する協議はしているか。
- 柄崎係長 ①社会を明るくする運動及び酒まつり巡視への参加、毎月の愛の声掛け運動等の活動に対する助成である。  
②お見込みのとおり
- 坂木課長 ③具体的な団体助成に関する協議にいたっていないが、地域から子供の居場所づくりに関する相談があったときには、地域共生推進課、地域づくり推進課、生涯学習課等と連携し伴走支援している。
- 景山副主査** 庁内連携と合わせて各種団体との連携もしてほしい。
- 北林分科員** 行政の立場としては、基本的に団体助成はできず、個々の活動に対して各部局ごとにそれぞれの視点から助成をする形とならざるを得ないと思うが、そういった形だと、どうしても

非営利の団体の場合、自主財源がないために財政基盤が脆弱となってしまう、社会教育団体の育成の観点からは悩ましいところだと思う。このあたりの匙加減について生涯学習部としての考え方はあるか。

伊藤部長 ご指摘のとおり団体育成という観点は大事であり、それぞれの活動に対してそれぞれが助成をするという形で団体の支援をしていると考えている。行政からの支援は支援の一つであり、住民自治協議会からの支援など、地域からの支援も受けることも考えられる。

北林分科員 今すぐどうこうということではないが、こういった団体が行政の仕事の補完をするだけにならないように、いつかきっちり統一的な考え方を整理する必要があると思う。

---

#### 【地域学校協働活動の推進について】

下向分科員 ①B・B ベースについて前年度より減額しているが、予算との関連性について教えてほしい。

②B・B ベースは今と異なることをやるわけではないのか。

③B・B ベースを今後どのように周知していくのか。

坂木課長 ①B・B ベースに関する事業は、学校教育部では不登校児童生徒の居場所づくり、生涯学習部では放課後子供教室の拡充である。本年度当初予算より減額となっているが、本年度実績見込み額よりは増額を見込んでいる。

②B・B ベースは、学校運営協議会での熟議による地域主体の活動としているので、すでにそういった熟議を経て実施されている既存の活動もB・B ベースと言える。

③それぞれの学校1校1校学校訪問を行って、B・B ベースについて学校運営協議会で熟議してもらえよう伝えていく。

---

#### 【自由討議】

北林委員 事業団の職員採用の配置について説明がない。周知が不足している。

山田分科員 伝建地区についてなかなか合意形成が出来ていない。「まちなみ物語」の発行が遅れている。

それが出来ていなくて真の声が集まらないというのは、進める気がないということか。

下向分科員 高屋情報ラウンジ地域拠点として色んな取り組みを考えていらっしゃると思う。

学校が空いている時間じゃない時に午前中、日曜日であったり、そちらの方も期待したい。

北林分科員 高屋図書館は指定管理が管理するには無理があるので図書コーナーでよいのでは。

まずは1年滑り出しの様子見をすべき。

貞岩委員 生涯学習部の事業は社会教育であり、児童生徒への科学の芽を発展させる補完的な事業。

児童青少年総合相談室での児童青少年の悩み等を即座に指導課と連携をとることはとても大切。

景山副主査 生涯学習の体制不備等については、DX化の推進やTGO等との連携をすべき。